

2025年度事業計画

I. 総括

公益社団法人として、診療放射線技術の発展と医療の安全・安心の提供を使命とする本会は、2025年度においても、以下の重点項目に基づき事業活動を推進してまいります。本計画は、都民の健康と福祉への貢献と診療放射線技師の技術向上をめざし、透明性のある活動を通じてさらなる信頼を築くことを目的に事業を展開します。

2025年度は「告示研修」開催の最終年度となります。本会は、日本診療放射線技師会と連携し、研修会を円滑に実施するとともに、多くの診療放射線技師が受講できる環境を提供します。特に、首都東京という地の利を活かし、全国からの参加者を受け入れる体制を整え、医療安全と技術向上を目的とした研修の質を高めてまいります。

地区委員会を中心に、地域の特性を反映した新たな活動企画を推進します。昨年度に続き、地区委員会へのヒアリングを通じて意見を収集し、会長・副会長が各地区の活動に直接参加することで地区間の連携を強化します。これにより、地域レベルでの活性化を図り、会員一人ひとりの主体的な参画を促進します。

放射線被ばくに関する質問や相談対応は、公益事業の柱として継続的に実施します。2025年度は、ホームページに掲載されている「検査時によくある質問」の見直しを行い、より分かりやすく充実した情報を都民に提供します。これにより、医療の透明性を高め、安心を届ける環境を構築してまいります。

入会促進委員会を中心に、本会が目標とする会員数3,000名達成に向けて、さらなる広報活動を展開します。本会が開催する研修会会場や養成する大学などへのフライヤー発送などを積極的に行い、本会の魅力を広く発信していきます。

2026年度に開催が予定されている東京支部との合同学術大会に向け、学術委員会および執行役員を中心に実行委員会を設置します。具体的な企画立案や運営計画を進め、成功に向けて準備を進めます。

2024年度に交流を再開したソウル市特別市放射線士会（SRTA）との関係を継続します。2025年度に横浜市で開催される関東甲信越診療放射線技師学術大会にSRTAを招聘し、学術交流を推進します。また、初めて英語で発表を行う会員にとっての登竜門としての取り組みを継続し、国際的な視野を広げる環境を整備します。

都民に対する放射線検査や医療に関する知識の提供を、市民公開講座やホームページを通じて積極的に行います。また、都内で開催される各種イベントに参加し、診療放射線技師資格の普及、放射線被ばく相談、乳がん触診、骨密度測定など、健康支援活動を幅広く展開します。

本会事業の目的と背景を会員全員に共有し、次世代を担う人材の育成と事業の継続的な発展を目指します。長年培ってきた本会の事業活動を次世代へ引き継ぎ、さらなるイノベーションを実現しま

す。

以下に、2025年度の主な事業計画案を挙げます。

1. 告示研修開催に向けての環境作り
2. 地区活動の活性化を目的とした取り組み
3. 放射線相談委員会と状況を共有し、HPに新しいFAQの掲載
4. 入会促進を推進するための広報活動を積極的に実施する
5. 2026年度開催の公益社団法人日本放射線技術学会東京支部との合同学術大会実行委員会を設置する
6. 国際学術大会参加支援と交流促進
7. 公益社団法人として公益事業の拡大を図る
8. 事業活動全般における「継続と継承」を目的に人材育成を図る

本会は、これらの事業計画を着実に実行し、診療放射線技術の進歩と医療の安全性向上を図るとともに、都民の信頼に応える公益法人としての責務を果たしてまいります。役員および会員の皆さまには、本計画へのご理解とご協力を賜り、ともに本会の未来を築いていくことを心よりお願い申し上げます。

一層のご支援と積極的な会務への参画をお願いする次第です。

Ⅱ. 定款に基づく本会の事業

(目的)

この法人は、診療放射線学の向上発展と放射線障害の防止に関する事業を推進するとともに、東京都における診療放射線技師の職業倫理を高揚することにより、放射線検査・治療技術の質の確保と都民の健康および医療、ならびに保健の質の維持発展に寄与することを目的とする。

(事業)

この法人は、前項の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業
- (2) 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業
- (3) 放射線関連機器及び診療用放射線の安全管理を推進する事業
- (4) 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進
- (5) 前各号の主旨を目的とした学術誌の刊行
- (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業

都民、本会会員、診療放射線技師および医療従事者を対象に下記の事業で知識の啓発普及を行います。また診療放射線技師においては、職業倫理を高揚し保健の質の維持発展および公衆衛生の向上に寄与します。この事業を通して、放射線災害や放射線事故に備えて、会員および広く診療放射線技師に対して緊急事態時における放射線測定や放射能除去の訓練を常日ごろより行うとともに、東京都民に対する啓発や知識の普及を行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

1) ペイシェントケア学術大会

開催時期：1月

開催場所：東京都内のイベントホール

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

後援：東京都および開催場所の市または区

実施内容：ペイシェントケアをテーマに患者医療に関する公開講演会およびシンポジウムを実施します。

2) サマーセミナー

開催時期：8月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：最新の診療放射線機器の情報提供を機器メーカー側とユーザーである会員側から、それぞれの立場で講演を行います。また、疾患や臨床研究など幅広い分野からテーマをきめ基礎から応用まで分かりやすく講演を行います。

3) ウインターセミナー

開催時期：2月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：最新の診療放射線機器の情報提供を機器メーカー側とユーザーである会員側から、それぞれの立場で講演を行います。また、疾患や臨床研究など幅広い分野からテーマをきめ基礎から応用まで分かりやすく講演を行います。

4) メディカルマネジメント研修会

開催時期：9月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：診療放射線技師をはじめ医療職の管理職を対象に危機管理や経営学をはじめ、各業界から専門家を招いて研修を行います。

5) 合同学術講演会

開催時期：10月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会・公益社団法人日本放射線技術学会東京支部

実施内容：東京都内の診療放射線技師が所属する2団体での合同企画であり、講師に診療放射線技師はもとより、医師、看護師をはじめとしたメディカルスタッフ分野の専門家、および有識者を招きます。

6) 日暮里塾ワンコインセミナー

開催回数：年間9回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行う。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

7) 支部研修会

開催回数：年間5回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 各支部

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行う。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

8) 地区研修会

開催回数：年間16回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 各地区委員会

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行う。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

9) 診療放射線技師の民間の給与、放射線医療に関する実態調査および各種研修会および講演会にてアンケートを実施し、その動向を調査し、今後の活動に生かす情報取得に努めます。これらの情報は、学術誌やホームページを通じて公表します。

2. 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業

都民を対象に下記の事業にて放射線医療および放射線障害防止の知識の啓発普及を行います。それぞれのイベントでは展示ブースなどを設置し、写真やパネルの展示、パンフレットおよび本会学術誌の配布を行います。また一般参加者からの医療被ばく相談や放射線に関する質問に対しては、会員が応対し、無料で適切なアドバイスを行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

1) ピンクリボンウオーク2025

開催時期：4月

開催場所：未定

主催：認定NPO法人乳房健康研究会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布

2) 第23回看護フェスタ2025

開催時期：5月

開催場所：東京都看護協会会館

主催：公益社団法人東京都看護協会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布

3) 第48回練馬まつり

開催時期：10月

開催場所：南町小、開進第二中

主催：中央区健康福祉まつり実行委員会、中央区、中央区社会福祉協議会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、放射線クイズ、パンフレット配布、学術誌配布

4) 中央区健康福祉まつり2025

開催時期：10月

開催場所：中央区保健所、福祉センター

主催：中央区健康福祉まつり実行委員会、中央区、中央区社会福祉協議会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、放射線クイズ、パンフレット配布、学術誌配布

5) OTAふれあいフェスタ2025

開催時期：11月

開催場所：ボートレース平和島

主 催：OTAふれあいフェスタ実行委員会、大田区

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、骨密度測定、パンフレット配布、学術誌配布

6) 東村山市民健康のつどい

開催時期：11月

開催場所：東村山市いきいきプラザ

主 催：市民健康のつどい実行委員会、東村山市

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布

6) 放射線検査や医療被ばくに関する相談への対応

ホームページを利用して、一般の方からの放射線検査や医療被ばくに関する質問に適切にアドバイスを行います。

7) その他

東京都診療放射線技師会の主催で、都民講演会やレントゲン週間イベントの単独開催を計画中。

3. 医療放射線の安全管理および放射線関連機器の安全管理を推進する事業

都民、本会会員、診療放射線技師および医療従事者を対象に放射線関連機器の完全管理の推進を行います。またこれらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表し、各種セミナーにて、放射線関連機器の安全管理に関する知識の普及を行います。

4. 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進

- 1) 東京都保健医療局医療政策部と連携を図り、医療従事者ネットワークに参加する医療専門職関連団体との連携を強化し、医療におけるさまざまな問題について協議を行い、改善を図ります。
- 2) 公益社団法人日本診療放射線技師会の生涯教育セミナー、臨床実習指導教員、放射線機器管理士および放射線管理士講習会などの事業に協力します。関東甲信越診療放射線技師学術大会を共催し、関東甲信越地域の放射線技師会との連携を図ります。
- 3) 放射線関連団体、医療関連機関、医療関連職能団体との交流を促進します。
- 4) 東京都内の診療放射線技師を養成する大学などと連携し、本会刊行物の無料配布を通じて診療放射線技師が果たす医療の役割を理解していただく啓発活動を行います。

5. 前各項目の主旨を目的とした学術誌の刊行

- 1) 学術誌「東京放射線」の刊行。

月刊誌「東京放射線」を発行し、会員に配布するとともに国立国会図書館、医療関連機関、全国の放射線技師会および診療放射線技師を養成する大学などに寄贈します。またイベントの展示ブースにて、都民をはじめ一般の方に広く配布します。

- 2) 本会の活動に関する図書の刊行。

診療放射線技師および放射線医療に役立つ学術資料を刊行します。

6. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1) 診療放射線技師の生涯教育を行います。

診療放射線技師のエキスパートにより、少人数制で専門的で高度な技術を習得し、診療放射線技師の生涯教育の目的で行います。またフレッシュャーズセミナー、各種基礎技術講習、告示研修など、公益社団法人日本診療放射線技師会との共催として開催し、技師としての礎を築くことができるようにいたします。これらを通じて入会促進に努めます。

2) 専門技術および資格の取得に向けた講習会を行います。

他団体と連携を図り、専門技術のさらなる習得と認定技師制度に基づく取得を目的に、きめこまかな生涯教育、MRI集中講習会を開催します。

3) 本会は、定款諸規程および内規に則って運営を行います。この定款諸規程を現状の組織運営に適した修正作業を行います。

4) 組織の活性化、新卒者などの入会促進のための活動を行います。更に雇用の促進と確保に努めます。

5) 会員の中から、叙勲、厚生労働大臣表彰、東京都功労者表彰などへの申請を行います。また本会における規定の表彰を行います。

6) 地球環境保全活動の推進のため、地域の清掃活動などに参加します。

Ⅲ. 委員会事業計画

2025年度の各委員会の事業計画が次のように企画されています。会員の皆さまのご協力をお願いします。なお、日時および詳細につきましては当該委員長にお問い合わせください。

1. 専門部委員会

総務委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る
- ・委員会を年6回開催する
- ・総会の準備を行う
- ・理事会の準備を行う
- ・中間監査の準備を行う
- ・期末監査の準備を行う
- ・新春のつどいの準備を行う
- ・役員研修会の準備を行う
- ・役員選挙の準備を行う

庶務委員会

- ・委員会を開催する（年4回程度）
- ・公文書の対応を行う
- ・会員情報提供申請書の対応を行う
- ・会員動向管理を行う

経理委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る
- ・予算書、決算報告書の作成
- ・毎月の伝票入力と予算執行の確認
- ・四谷監査法人との連携強化
- ・ペイシェントケア学術大会、新春のつどいの受付支援
- ・委員会を年12回開催する、必要に応じて会議開催を行う
- ・会計処理規程の見直し
- ・経理運用規程の見直し
- ・立入検査指摘事項の検討

編集委員会

- ・委員会を年12回開催する（毎月第2～3週にて会誌の再校・企画）
- ・新連載などの企画検討
- ・会誌発行回数の検討
- ・過去の写真データの管理
- ・会誌進呈先の確認
- ・編集委員会内規（規定）の作成

学術委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る

- ・委員会を年12回開催する（毎月第2水曜日開催予定）
- ・日暮里塾ワンコインセミナーを3回開催する（学術委員会主幹）
- ・きめこまかな生涯教育を1回開催する（2025年6月）
- ・サマーセミナー、ウインターセミナーを各1回開催する（2025年8月、2026年2月）
- ・メディカルマネジメント研修会を教育委員会と開催する（2025年9月）
- ・ペイシェントケア学術大会を開催する
- ・合同学術講演会を開催する（2025年10月、JSRT主幹）
- ・教育委員会と合同での企画を開催する

教育委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る
- ・委員会を年12回開催する
- ・日暮里塾ワンコインセミナーを2～6回開催する（フレッシュャーズセミナー（日本診療放射線技師会）実施を含む）
- ・きめこまかな生涯教育を開催する
- ・MRI集中講習会を開催する
- ・実践集中講習会（X線/CT関連）を開催する
- ・学術委員会と合同での企画を開催する
- ・学術的な刊行物の発刊および発刊済みの改訂、検討を行う

広報委員会

- ・委員会開催 6回/年（予定）
- ・イベントに参加する
 - ① 5月：第23回看護フェスタ（東京都看護協会会館）
 - ② 10月：第8回練馬区まつり（南町小、開進第二中）
 - ③ 10月：中央区健康福祉まつり2025（中央区保健所、福祉センター）
 - ④ 11月：OTAふれあいフェスタ2025（ボートレース平和島）
 - ⑤ 11月：第41回東村山市民健康のつどい（東村山市役所いきいきプラザ）
 - ⑥ 11月：レントゲン週間
 - ⑦ 未定：東京都診療線技師会 主催イベント
- ・物品貸出し 4回/年（予定）
 - 乳腺触診ファントム、スタッフジャンパー、旗
- ・配布用ノベルティ作成（予定）
 - 未定

厚生調査委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る
- ・診療放射線業務関係・給与関係・技師会活動関係等のいずれかをテーマに実態アンケート調査を1回行う
- ・各委員会の調査協力の推進を図る
- ・委員会を年12回開催、また必要に応じて会議開催を行う
- ・使用済み切手の収集活動を行う
- ・災害関係への募金活動を行う
- ・会員親睦行事を開催する

情報委員会

- ・ホームページの情報を定期、随時更新
- ・ホームページ保守、管理
- ・ホームページの改修作業
 - 入会促進に関するページの作成
 - ページの見直しの改修および新規ページの増設
- ・ホームページ使用ニーズに対するシステム変更
- ・サーバーおよびメーリングリストの保守、管理
- ・情報委員会会議を適宜に開催する
- ・情報委員のスキルアップ勉強会を開催

渉外委員会

- ・定款に基づく本会事業関連業務
- ・表彰委員会開催（2回）
- ・渉外委員会開催（適宜）
- ・表彰委員会資料作成
- ・叙勲への推薦
- ・東京都功労者表彰への推薦
- ・総会表彰準備
- ・日放技永年勤続表彰等への推薦
- ・その他関連団体における表彰関連業務

災害対策委員会

- ・委員会開催（8回程度）
- ・緊急被ばく医療研修会実施
- ・災害対策に関する啓発活動

2. 地区（支部）委員会

第1地区

- ・地区委員会を年11回開催する
 - 原則：毎月第3火曜日に開催（8月は休会）
- ・地区研修会を開催する
 - 日時・場所：未定
- ・城東支部研修会を開催する
 - 日時・場所：未定
- ・中央区健康福祉まつりに参加する
 - 予定：2025年10月下旬
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う
- ・小野賞を選考する
- ・技師会への入会促進を図る
- ・技師会行事について、地区会員へ広報を行う
 - ①地区・支部研修会 ②各種研修会・講演会・セミナー
 - ③学術大会（日放技・関東甲信越）④新春のつどい等

第2地区

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する
予定：2025年7月 Web形式及びハイブリット形式にて
- ・城東支部研修会を開催する
予定：2025年7月 Web形式及びハイブリット形式にて
- ・地区委員会を年10回開催する（原則として第3水曜日）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、またメール等で積極的に入会促進を図る
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行い、地区委員を1名増員
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う
- ・中央区クリーンデーへの参加
予定：2025年5月下旬頃
- ・中央区健康福祉まつり参加
予定：2025年10月下旬頃
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に広報・参加呼びかけを行う
 - ④ 総会 ②地区・支部研修会 ③各種研修会・セミナー
 - ④学術大会（日放技・関東甲信越）⑤学術講演会
 - ⑥新春のつどい等

第3地区

- ・地区委員会の開催 年間11回（8月は休会）
- ・地区研修会の開催
- ・学術（例年：疾患に対するマルチモダリティからのアプローチ）、ノンテクニカルスキル等をテーマにした研修会を企画・開催する（秋ごろを予定）
- ・広報委員会関連事業である、練馬まつり（毎年10月開催）に地区委員会から参加して、都民へ当会や健康に関する情報を公開する
- ・第3地区会員名簿のメンテナンスを行う
- ・第3地区での入会促進のため、会員の施設との情報共有ができるよう研修会、情報交換会等でのアプローチを行う
- ・JART、TART主催行事への会員、非会員の参加の呼びかけを地区委員を中心に行う
- ・城西支部研修会の担当する3つの地区委員長と連携し、会員のニーズから内容を検討して企画・実施する。
- ・城西支部間での情報共有、連携を強めるためにも各地区研修会への参加協力を行う。

第4地区

- ・会員のニーズに合った研修会を企画してより多くの参加者を目指し、リーフレット配布なども研修会を行うことで、新規入会者の獲得に助成する
- ・若手交流会を活かし、技師会の良い雰囲気伝えて新規委員への加入を目指す
- ・月1回の理事会報告（8月休会を除く）
- ・地区委員会は対面もしくはWeb会議を基本として年8回以上開催する
- ・地区委員会に参加・未参加問わず、新規委員候補を探すとともに地区委員の活性化を図る
- ・入会促進および未納退会会員減少に務める
- ・表彰対象者を選考する（小野賞、功労賞など）

- ・2025年7月 地区若手交流会（第4地区限定）若手の委員を中心に企画運営を行う
- ・2026年1月 地区研修会（参加者オープン）事業コンセプトに沿った企画を行う
- ・2025年11月 OTAふれあいフェスタへの人員派遣
- ・城南支部の地域（第4,8,11,15地区）間の連携を強化し、城南支部研修会に協力する
- ・告示研修について地区会員に周知し、積極的な参加を促す
- ・JARTおよびTARTの行事へ積極的な参加を呼びかけ、参加率の向上を目指す

第5地区

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する
予定：第5地区研修会を開催する（2025年12月頃）
- ・支部学術研修会を開催する
予定：城北支部研修会を開催する（2025年11月頃）
- ・地区委員会を年11回開催する（休会8月）
- ・ホームページ掲載の更新を行い、積極的に会員との情報共有と活性化を図る
- ・地区行事に参加した非会員にパンフレットを配布し、入会促進を図る
- ・地区会員名簿の確認と更新を行う
- ・小野賞を選考する
- ・荒川クリーンエイド活動などに参加し、社会貢献と環境保全を促進する
- ・東京都診療放射線技師会行事を地区会員へ呼びかけ参加を促進する
④ 総会 ②学術・教育企画 ③学術大会（日放技・関東甲信越）
④学術講演会 ⑤新春のつどい等
- ・SDGsに取り組む

第6地区

- ・地区研修会を開催する
予定：2月
- ・支部研修会を開催する
予定：10月
- ・地区委員会を年10回開催する（毎月第3木曜日開催原則）
- ・必要に応じてその都度、臨時の地区委員会を開催する
- ・地区会員の地区委員会への参加を要請する
- ・地区委員会名簿の確認作業と更新を行う
- ・診療放射線技師法改正による統一講習会や告示研修への参加を呼びかける
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う
① 学術研修会
② 学術大会（日放技・関東甲信越など）
③ 学術講演会
④ ペイシエントケア学術大会

第7地区

- ・地区委員会を開催する
予定：年10回（対面もしくはZoom会議とする）
- ・地区研修会を開催する
日程：未定

- ・支部学術研修会を開催する
 予定：例年6月～8月に開催
- ・中央区健康福祉まつりに参加する
 予定：例年10月開催
- ・小野賞を選考する
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う
 - ① 学術研修会
 - ② 学術大会（日放技・関東甲信越
 - ③ 新春のつどい等
- ・地区施設に対して7地区の活動を広報していく
- ・地区内の交流を促進させる

第8地区

- ・地区研修会を開催する 予定：2月
- ・地区情報交換会を開催する予定：9月
- ・地区委員会を年8回以上開催する
 （理事会月 第2木曜日開催原則 Web会議もしくは対面）
- ・入会促進を勧めると共に未納退会会員を少なくする
- ・診療放射線技師法改正に伴う告示研修について地区会員に周知し、積極的な参加を促す
- ・次期地区委員候補を探し、地区委員メンバーの活性化を行う
- ・小野賞を選考する
- ・城南支部の地区（第4・8・11・15地区）間の連携を強化する
- ・城南支部研修会への協力を行う
- ・OTAふれあいフェスタ2025に参加する
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行い、参加率の向上を目指す
 - ① 学術研修会
 - ② 日暮里塾ワンコインセミナー
 - ③ 学術大会（日放技・関東甲信越）
 - ④ 学術講演会等

第9地区

- ・情報交換会と地区研修会を開催する（2025年秋から冬に予定 社会情勢を考慮しWeb利用も検討）
- ・城西支部研修会を開催する（開催時期未定）
- ・城西支部各地区との連携を強めていく
- ・地区委員会を年10回開催する（社会情勢を考慮しWeb利用も検討）
- ・積極的に入会促進を図り退会会員を減らす努力をする
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行い参加率の向上を目指す
 - ① 学術大会（日放技・関東甲信越・ペイシェントケア学術大会）
 - ② 学術講演会
 - ③ 学術研修会
 - ④ きめこまかな生涯教育・日暮里塾ワンコインセミナー
 - ⑤ 新春のつどい等
 - ⑥ 練馬まつりへの協力
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う
- ・地区委員会および地区委員連絡網のメンテナンスを行う
- ・小野賞を選考する

第10地区

- ・地区研修会を開催する

予定：2026年2月頃

- ・支部研修会を開催する

予定：2026年3月頃

- ・地区委員会を年10回開催する
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う
- ・小野賞を選考する
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う
 - ① 学術大会
 - ② 総会
 - ③ 研修会
 - ④ 告示研修

第11地区

- ・地区学術研修会の開催（予定：10～12月頃）
- ・地区委員会の毎月開催（メール・オンライン会議を含む）
- ・未入会者への入会促進
- ・地区会員名簿のメンテナンス
- ・地区委員会連絡網のメンテナンス
- ・表彰者の推薦
- ・地区会員親睦会の開催（ボーリング大会等）
- ・地区会員へ積極的への参加呼びかけ
 - ①定期総会 ②告示研修会 ③地区研修会 ④支部研修会
 - ⑤学術大会（日放技・関東甲信越）⑥学術講演会 ⑦新春のつどい等

第12地区

- ・第12地区研修会を開催する（社会情勢を考慮し、開催方法を調整する）
会員にはハガキやHPを利用して参加を促進する
予定：2026年2月
- ・支部研修会を開催する（第13地区と合同で行う）
予定：2026年3月
- ・地区委員会を年6回開催する（開催日はその都度日程調整する）
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行うとともに、第12地区の会費未納者を減少させる
- ・小野賞を選考する
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う
 - ①定期総会 ②各研修会 ③きめこまかな生涯教育
 - ④各学術大会（日放技・関東甲信越など） ⑤レクリエーション
 - ⑥新春のつどい など
- ・第12地区ホームページの更新・メンテナンスを定期的に行う

第13地区

- ・地区委員会はWeb会議を中心とし毎月開催するまた、集合型の地区委員会は全12回の内3回を目処に開催する（開催回数は未定）
→理事会報告・情報共有・拡散の徹底

- ・9月第一日曜日に夏季レクリエーション大会・親睦会を行う
→本事業には東放技役員・会員への参加案内を行う
- ・支部研修会を開催する（第12地区と合同で行う）
（2025年度は2026年2月に第12地区中心となり開催予定）
- ・地区研修会を開催する（Web中心での研修会開催を検討）
（最低年に1回開催を目標に年度計画を進め、参加型も視野に入れ地区研修会開催を考える）
- ・地区会員名簿を見直すと同時に会員入会を呼びかけていく
（新たな地区委員への交代を促進）
（会費未納者への積極的な声掛け、会員数減の抑制）
- ・東放技・日放技主催の研修会などへの参加を促進させる
 - ①総会
 - ②学術研修会
 - ③きめこまかな生涯教育
 - ④学術大会（関東甲信越深慮放射線技師学術大会）への参加・演題発表施設増
 - ⑤レクリエーション（ボーリング大会等）への参加
 - ⑥東村山健康のつどいへの参加
 - ⑦新春のつどいへの参加等

第14地区

- ・地区研修会を開催する
- ・城東支部研修会を開催する
- ・地区委員会を年11回開催する
- ・東京都診療放射線技師会未入会者（特に若手・新人）への入会促進を行う
- ・地区委員の委任を要請する
- ・地区会員名簿の管理を行う
- ・小野賞の選考を行う
- ・東京都診療放射線技師会事業（定期総会・ペイシェントケア学術大会・サマーセミナー・ウインターセミナー・日暮里塾ワンコインセミナー・きめこまやかな生涯教育・メディカルマネジメント研修会・地区研修会・合同学術講演会）について広報を行い、積極的に参加を推奨する
- ・日本診療放射線技師会に関する情報提供を行う

第15地区

- ・城南支部研修会の開催をサポートする
- ・地区委員会を理事会開催月に行う（世上によりweb開催も検討）
- ・実働隊の地区委員を増員する
- ・地区の業務を公平に分担して委員全員で行う
- ・積極的に入会促進をするとともに、未納退会会員の歯止めを行う
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行い、必要な情報伝達の充実を図る
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行い、必要な情報伝達の充実を図る
- ・小野賞または功労賞を選考する
- ・城南支部の地区（第4・8・11・15地区）間の連携を強化する
- ・OTAふれあいフェスタにスタッフとして参加の案内をする
- ・当会行事を地区会員へ積極的に広報して参加の呼びかけを行う
 - ①総会
 - ②学術大会（日放技・関東甲信越）
 - ③学術研修会
 - ④きめこまやかな生涯教育
 - ⑤親睦行事
 - ⑥OTAふれあいフェスタ
 - ⑧新春のつどい等
- ・地区会員の声を拾い上げるような工夫を考察する

第16地区

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する
予定：2026年2月頃
- ・支部研修会を開催する
予定：2025年11月頃
- ・地区委員会を年11回開催する（第3月曜日 [8月休会]）
- ・地区名簿を更新し、新規に地区委員を招聘する
- ・各種ツールを利用して、未入会者には積極的に入会促進を図る
- ・小野賞を選考する
- ・技師会の開催する研修会や、イベントに積極的に参加できるよう地区会員に働きかける
- ・埼玉県診療放射線技師会と連携できるよう積極的に情報交換を行う

3. 特別委員会

表彰委員会

- ・表彰規程に基づき叙勲およびその他の団体表彰候補者の選考・審査を行う
- ・東京都診療放射線技師会 各功労賞候補者および団体の選考・審査を行う

国際委員会

- ・2025年度関東甲信越診療放射線技師学術大会インターナショナルセッション企画運営
- ・2026 SRTA (Seoul Radiological Technologists Association 59th International Conference)参加
- ・国際委員会主催ワンコインセミナー開催

入会促進委員会

- ・養成校・各施設へリーフレットの配布を続ける（昨年度とは内容を変更する）
- ・HP入会促進ページおよび入会促進フライヤーの見直し
- ・東京都診療放射線技師会が開催する勉強会にて、リーフレットの配布や、動画の放映をお願いし、積極的に自動加入できる保険や勉強会、イベントを一人一人に行き渡るような案を模索する（入会促進委員会での講演も視野に入れる）

放射線相談委員会

- ・技師会放射線相談活動対応（放射線被ばく相談、その他放射線相談対応）
- ・放射線相談事例のまとめ
- ・放射線相談事例Q&Aテンプレート作成
- ・他の委員会と連携した活動

定款諸規程等検討委員会

- ・定款諸規程等検討委員会を適宜開催する
- ・年1回、定款の見直し等修正を行う

公益社団法人日本放射線技術学会東京支部との合同学術大会実行委員会

・2026年度の開催に向けた会議を行う

以上